

サロン 登美ヶ丘茶論(5)

2020年5月



三権の長を兼ねてる安倍総理

ウィルスでアベノミクスはチャラになり

内閣府大本営に似て来たり

◆ 孫氏の兵法

「兵は拙速を聞く」、「10 を持って 1 を攻むるなり」。戦いは確実に勝つ見通しを得て短期決戦、長期になれば兵站も伸び、財政負担が増す。兵は分散させず、集中投入が鉄則。兵の逐次投入は兵を分散させ、戦力の弱体化に直結で禁じ手。

「彼を知り、己を知れば百戦して危うからず・・・彼を知らず己を知らざれば戦うごとに必ず危うし」。行き当たりばったりの戦争をするものは必ず負ける。大きな犠牲を伴う戦争を極限まで避けた思索の人、孫子の兵法は、プロシャの「戦争論」著者クラウゼヴィッツとともに、戦争のみならず、政治の要諦。古今の政治指導者必須の思索書です。

緊急事態宣言から外出自粛要請、逐次エリアを拡大。結果、感染拡大と医療崩壊を招いています。対応策がちぐはぐ。5/1 付朝日新聞は、ニュージーランドの若き女性アーダーン首相が取ったコロナ対策の詳細を伝えています。素早い規制と補償で感染者は大幅に抑制され、わずか1か月弱、今月28日からロックダウンが一部解除される見通しです。NZ 在住の知人からも今朝、情報のやり取りで、同様の詳細が届きました。

政党交付金と官僚の人事権、金と人事を握ることで権力を縦横無尽に作動。結果、有能な政治家・官僚は視野にいなくなり、有象無象、役立たずばかりが権力の周りを徘徊する。おつむ空っぽの最少(宰相)脳みそ集団に翻弄されるのはか弱き国民。

安倍の脳裏にあるのはどさくさ紛れの憲法改悪、金ばらまき(すべて国民の税金ですよ)の選挙対策。背景に居る日本会議には要注意。か弱き国民も乾坤一擲、団結して立ち上がる時、自らの生命は自ら護らないと。誰も護ってくれません。(Oさん)

◆ 大砲よりバターを、爆弾でなくノートと鉛筆を！

ストックホルム国際平和研究所が4月27日に2019年の世界の軍事費を発表した。前年より3.6%増の1兆780億US\$とのこと。勿論米国が最大で5.3%増の7320億\$。日本は第9位で(9条があって軍事費第9位ってのは偶然だが)476億\$。米国の7320億\$が問題だ。どこの国が米国に攻めていくというのか、9・11は戦争侵略ではない。その米国はロシアの脅威を言いたててEU諸国に露軍事費増強要しているが、今のロシアは西欧諸国を侵略しようとはしていない。米国は「世界の警察官をやめる」というが、実行をとまなっていないし、そもそもヤクザがみかじめ料を取っているようなものだ。サウジ・アラビアの軍事費の対GDP比8%というのも凄い、日本だと4300億\$に近くなる。それで、日本の軍事費は少ないのかというと、仏独英に比べて少ないだけで大差がない、これも「9条があって…」だ。軍事費は全く無駄だ。大砲よりバターを、爆弾よりノートと鉛筆を、です。日本も、医療費と社会保障費の「自然増」抑制に躍起になっているのに、米国製の超高額な兵器を買おうとする政府はおかしいです。そんな政府は倒さなければなりません。これはもう政治活動ではなく、国民が生き抜くための正当防衛です。安倍やめろ！(Mさん)



森友問題で自殺に追い込まれた財務省職員赤木俊夫氏の夫人が再調査を求める電子署名を呼び掛けています。下記URLから署名をお願いします <http://chng.it/xmWVds6YW4>



◆「出口」戦略？－専門家も疑問符

「出口」について5/8付「毎日」1面コラム「余録」が面白い逸話を紹介している。落語「八間の大灯笼」というインチキ見せ物小屋の話である。好奇心につられて木戸銭を払って小屋に入ると、八間（約14m）先の出口に連れていかれて「さあ、通ろう、とろう」といって追い出される落ちである。米国にも似た話があって、「イーグレス(egress)はこちら」の看板につられて、どんな怪物かと屋内へ入ると裏の出口から体よく追い出される。実は羅語 egressus 由来の英語「出口」の意味だった、という話。

メディアは大阪府の「出口戦略」を大宣伝－結果、世論調査では、「最も評価する政治家」の首位は維新吉村府知事だという。維新といえば、ドサクサ紛れにコロナの「緊急事態の中で国会機能の確保のために」憲法に「緊急事態条項」の創設が不可欠という、とってつけたような理由で憲法審査会の早期開催を安倍自民にオネダリしたり直談判したりエール交換したり…根っからの常習壊憲派である。しかも維新が二重行政の解消の名のもとに執拗に進める「大阪都」構想は、今以上にさらに医療機関削減にも及ぶのではないのか。「都構想・カジノ・万博」の「顔」に「出口」を仕掛けたメディアの裏に跳梁する闇…?

コロナ緊急事態宣言解除の「出口戦略」を実現するための大前提は、PCR等検査を拡大して国民が感染の全体像を掴めるようにすることである。かつ、政府も専門家会議もコロナ対策・検査結果の全容を国民の前に隠すな！公開せよ！というのが、「出口」のための本当の解である。全体像が不明のままの戦略は科学性を欠き、ただブラック・ボックスの中で「動くな、触るな」と言い続ける政策以外に手はなくなる。専門家会議の委員自身が、感染は氷山の一角、感染者は今の10倍以上、正確には不明と宣う。

何れにせよ、何よりも政府と政府諸機関への信頼がカギである。5月4日の専門家会議の記者会見を聴いて啞然とした。海外と比べた検査の遅れと検査の少ない理由を列挙する言い訳に終始した。コロナ賭博クルーズ船への無策から始まって、軽症や無症状感染者を市中に放置して感染を拡大させた最終的な重大責任は勿論政権政府にあるが、公衆衛生・医療政策について提言する政府機関も責任は免れない。

コロナ政策はどれも治安対策を睨んだ終息・収束策ではないのかと思えてくる。コロナ騒動に遭遇して思い浮かぶのは、例によって政権お気に入りの取り巻きや曲学阿世が「有識者」「専門家」として政府の諮問会議等に集められ利権にありつく様である。せめて専門家会議はそうでないことを祈る（Yさん）

コロナのドサクサ紛れに 検察庁法を初め重要諸法案 国会強行突破狙うアベ政権！

●憲法審査会開催へ自民・維新・公明の執拗な動きの点と線（「茶論」(4)以後）4/16 自民・公明幹部16日に衆院憲法審幹事懇談会開催狙うが、野党の反対で開催できず－4/23 公明北側副代表記者会見：「(与野党)懇談会憲法審で議論できないのは非常に残念」－4/26 奈良県議植村議員：県議会で「国会での憲法論議推進意見書…を可決」「自衛官募集に県は積極的協力を」等記載した「議会活動報告」新聞折り込み広告

●4/14 衆院本会議に年金制度改定案審議入り強行（年金受取開始時期60-75歳に拡大[現行70歳まで]）

●4/16 衆院本会議に検察庁法審議入り強行→ ツイッター上 野党4党首；著名人等 抗議600万超(5/12)

・日本弁護士連合会 抗議声明－「政権が検察人事に強く介入することを許し、検察官全体に委縮効果をもたらす」；「検察官の政治的中立性が脅かされれば、憲法原則三権分立を揺るがす恐れさえある」

・枝野(立民)－「どんな権力者も罪を犯せば処罰される。…このまっとうな社会を守る最後の砦が検察だ」

・玉木(国民民主)－「検察官の独立性・中立性を害する大きな問題だ」

・志位(共産)－「検察には総理大臣も逮捕できる強力な権力が与えられている。

検察の人事に内閣が干渉・介入できるようになれば、日本は法治国家でなくなる」

・福島(社民)－「連帯して検察庁法改定案を廃案にする」 「きれない」!

・ツイッター上著名人等続々－宮本亜門、城田優、大友良英、浅野忠信、井浦新、小泉今日子、他多数(書き)

「茶論」への御投稿をお待ちしています。日頃思うこと、感じること等どんな話題でも結構です。気軽に御投稿ください。掲載時、投稿者は匿名扱いたします。

原稿は以下の世話人ポストへ放り込んでください：石田(松陽台 2-16-4 ☎46-0352)、赤沢(鳥見 2-5-1)、秋山(東登美 4-22-19)、藤田(西登美 4-17-4)、堀江(西登美 1-20-7)、宮田(鶴舞西 2-10-C505)、初谷(中登美 4-1 ローレル I-7-204)、森本(西登美 1-22-21)

登美ヶ丘九条の会



軽いなあ重い責任云う総理

シンゾウに毛が生えてなきや辞めている

一狂と言えはいいのになぜ言わぬ

主権者に情報隠す民主主義

部下の自死遺憾で済まず鉄面皮

自民党支持する人が試される